



# 希望の鐘 *The Bell of Hope*



The Y's Men's Club of Kawagoe

〒350-0046 川越市菅原町 7-16

tel:049-226-2491 fax:049-226-2304

c/o Kawagoe YMCA, 7-16 Sugawara-cho, Kawagoe, Saitama 350-0046 Japan

## 川越ワイズメンズクラブ会報

No. 27-08

2月号

発行 2025年2月12日

Chartered 1998

会長 利根川 太郎 クラブ会長主題 「原点に戻って、川越 YMCA を支えよう。」

副会長 松川 厚子 国際会長: A. Shanavaskhan シャナヴァスカーン(インド)

会計 吉田 公代 主題 Together for better world より良い世界のために、共に

書記 吉野 勝三郎 スローガン Arise and Shine 日本語訳: 立ち上がろう、そして輝こう

アジア太平洋地域会長 ジョーン・ウォン (香港)

主題 大きなインパクトを起こそう

東日本区理事 山田 公平 (宇都宮)

主題 ワイズの方向性を見極める

関東東部部長 山本 剛史郎 (川越)

主題 我々は微力かもしれないが、無力ではない!

### 2月の聖句

#### ・マタイによる福音書 6:34

だから、明日のことまで思い悩むな。明日なことは明日自らが思い悩む。その日の苦勞は、その日だけで充分である。

Therefore do not be anxious about tomorrow, for tomorrow will be anxious for itself. Let the day's own trouble be sufficient for the day.

(Matthew 6:34)

### 12月統計(1月25・31日)

出席者 9名 出席率 90%

### 川越クラブ 1月例会報告

会長 利根川太郎

1月は往ぬる2月は逃げる3月は去ると云いますが、新年を迎えたと思ったら、もう立春を迎えてしまいました。

暦の上では春とはいえ、数年に一度の寒波が来るとのことです。皆様のご健康を祈りつつ1月の例会報告をいたします。

1. B F 代表の Venkateshu(ベンカテッシュ)ご夫妻へのクラブ対応について

・川越クラブの対応は1月29日(水)から2月1日(土)です。

・主な行動予定と担当者は以下の通りです。

29日; 利根川太郎・恵子; 12:00 川越駅にて東京多摩マイルクラブの綿引さんから引き継ぎ、川越YMCA訪問等

30日; 新井壽代夫妻; 岩槻人形博物館、大宮盆栽美術館

31日; 吉野勝三郎; 鉄道博物館

2月1日; 生川美樹・吉田公代; 川越一日観光(本丸御殿・菓子屋横丁など)

・1月31日18:00からレストランエルミタージュにて川越クラブ歓迎会を開催します。

2. 3月29日(土)のバス旅行について

・YMCAのバス27名乗りを使用します。

・CS資金より50,000円の支援をいただけることになりました。

・川越YMCAクローバークラス生徒など約10名、引率職員2名、川越クラブメンバー9名の他に6名程度の枠がありますので、参加をご希望の方は利根川までご連絡ください。

・活動計画は、長瀬、宝登山を中心に川越YMCAで作成していただきます。昼食は27名が入れる食事場所またはお弁当を含めてYMCAで検討していただきます。

・参加費については、活動計画、昼食等の案が決まり次第決定します。

3. ハイデラバードクラブとのIBCについて

・IBC締結調印式の日程については、ハイデラバードからの回答を待って進めます。

4. ブリテン {希望の鐘} の原稿について

・クラブメンバーが順番にブリテンに記事を掲載することにしました。

・執筆順は、山崎、松川、新井、生川、吉田、山本、吉野、恵子、太郎、河合とします。

・記事の内容は、近況や雑感等何でも良いこととし、執筆者に一任します。

5. コーヒーチャリティについて

- ・3月1日から販売価格を1,800円に改訂します。それに伴ってコーヒーチャリティの会計をファンドから本会計に移します。
- 6. チャリティ「川越イモ」は49件55箱を売り上げました。ご協力に感謝申し上げます。来年度は、シルクスイートに代わり「あいこまち」を取り扱う予定です。

以上、主な内容を報告いたします。次回例会は川越YMCAで2月15日(土)14:00からです。

## BF代表ベンカテッシュご夫妻川越プログラム報告

利根川太郎・恵子

2024-2025年度のBF代表として、VENKATESH、JAYANTHI(ベンカテッシュ・ジャヤンティ)ご夫妻(YMC KOLLAM ROYALS(コラム・ロイヤルクラブ))が来日され、1月29日(水)から2月2日(日)の間、川越クラブにお迎えして交流を深めました。

川越クラブでは、クラブメンバー全員がこの交流を分担して担当し、密度の濃い親交を深めることができました。ここにその概要をご報告いたします。

なお、メンバーが担当した日は、それぞれのメンバーからリレー形式でご報告したいと思います。

1月29日(水)11:30に川越駅で、綿引康司さん(東京多摩スマイルクラブ)から引継ぎを受けました。荷物をホテルに預けた後、昼食は近くの和食店を利用しました。ご主人のベンカテッシュさんは、火の通った魚介と鶏肉は食べられないということでしたが、お刺身にもトライしておいしいと言ってくれました。奥様は完全な菜食主義ですので、野菜天と味噌汁とご飯を召し上がっていただきました。お二人とも気さくな人柄で、すぐに打ち解けたのが印象に残っています。

まず、川越YMCAを訪問して概要を説明した後、天気も良く景色の良いところを歩きたいのご希望があり、秩父の宝登山を訪れました。ロウバイが満開を迎えていて、とても良い香りの中を散策しました。宝登山の由来やスサノオの尊の伝説なども興味深そうに聞いていました。

夕食は、拙宅にてトマト鍋を囲みました。奥様の食事は、幸い近くに南インド料理のレストランがありますので、テイクアウトで調達することができ、楽しい会食になりました。ご主人は、かなりアルコールに強くてだいぶ召し上がりましたが、しっかりしていました。最後は奥さんにテーブルの下で突っつかれていましたけど……。万国共通だと妙に納得？してしまいました。

二日目30日(木)は新井壽代・賢二夫妻がさいたま市を案内しました。その様子は、新井さんの報告に委ねます。

三日目31日(金)は吉野勝三郎さんが鉄道博物館を案内しました。こちらも吉野さんの報告をご覧ください。

31日は、レストラン「エルミタージュ」で、川越クラブの歓迎会を開催いたしました。出席者(敬称略)は、ベンカテッシュご夫妻、吉野勝三郎、吉野ふじ子、山崎純子、新井壽代、山本剛史郎、生川美樹、木下遥七、利根川恵子、利根川

太郎の11人です。全員が英語で自己紹介のスピーチを行い和気藹々と楽しい時間を過ごすことができました。山本さ



さんが25年の川越クラブの活動をパワーポイントで紹介し、ベンカテッシュさんからは、コラム・ロイヤルクラブの活動の様子や、インドの状況などを伺うことができました。

料理は、「エルミタージュ」の料理長がご夫妻のコースを特別に組んでくださり、奥様も安心して全品を召し上がっていただきました。



四日目2月1日(土)は生川さんと山崎さんが川越市内を案内しました。この様子も生川さんからの報告に譲ります。

五日目2日(日)は川越クラブの最終日です。山本さんが中学校の部活などを案内して所沢クラブに引き継ぎました。詳しくは山本さんの報告をご覧ください。

以上雑駁ではありますが、川越クラブでの交流の様子をご報告いたします。

会長として特筆すべきは、クラブのメンバー全員が一日を割いて、BF代表の受入を担ったことです。メンバーの語学力もさることながら、国際的な視野や興味を皆さんが持たれていることに、改めて感じ入った次第です。この経験は川越クラブに取りまして、分けども会長に取りましてとても良い経験になったと確信いたしました。改めて関係の皆様にご報告申し上げます。ありがとうございます。

## 1月30日(木)の案内

新井壽代

ベンカテッシュご夫妻のご案内をさせていただきました。午前10時にホテル、主人の新井賢二と車で、お迎えに参りました。ホテルのロビーにて待ち合わせ。几帳面な方と利根川夫妻から、お知らせ頂いた通り、お二人はすでに待って

いてくださいました。

ベンカティッシュさんもジャヤンティさんも明るく気さくな方でとても話しやすく、楽しい時間を過ごすことができました。車で動きましたので、岩槻の人形博物館と東玉人形店を周り、博物館に併設の ヨロ研カフェ にて、ランチをとりました。こちらにはヨーロッパ野菜のプレートランチというのがありまして、お二人はこれを食べました。ベンカティッシュさんはプレートにあったチキン、ライブレッドも野菜(ドレッシングやバーニャカウダのソースはつけませんでした)もほとんど食べていましたが、ジャヤンティさんはプレートについていたミネストローネスープとライブレッドだけ食べて済ませました。そこで残ったチキン、野菜サラダなどはテイクアウト、明日の朝食用に持ち帰りいたしました。ベジタリアンとのことで、お食事に気配り致しましたが、私自身がお話をお聞きし、学ぶことが多かったと思います。

その後、盆栽を観るために我が家近くの盆栽園に移動。その途中、我が家にて40分ほどのティータイムをとりました。コーヒーと主人手製の金柑の甘煮などを差し上げましたが、ジャヤンティさんは糖分を控えつつ、金柑の大きな一粒をひとくちで食べてくださいました。ベンカティッシュさんはこちら主人の手製梅酒をお試しくださしました。お二方も手製の品々は美味しいと笑顔で言ってくださり、しばし、家族の味や日頃の食事についてお互いにお話しました。我が家の内装や家本体などを見て、その構造や材質などベンカティッシュさんから質問があり、お答えしました。そして、南インドの多くの住宅の建て方などのお話をお教えくださいました。風土、気候などなど、お話は尽きませんでした。その後、氷川神社を参拝、参拝の仕方などもお話しつつ、楽しみましたが、、、午後4時半、日が傾いた時間帯はお二人とも かなり寒い と言っていました。日本人が感じる冷え込み以上に寒さを感じていらっしゃると思います。川越東武ホテルに5時15分に戻りました。その後、午後6時より利根川夫妻も一緒に あうん 日本蕎麦レストラン にて、夕食。ベンカティッシュさんはお刺身も食べましたし、サラダも！日本酒も焼酎も！！美味しかった様子でした。ジャヤンティさんも野菜天ぷら、茄子の味噌田楽とヨーグルト、ライスなどを食べ、その様子を見てこちらもホッとしました。食べ物はお二人に食べられそうかをお聞きしながら、おすすめしました。食べ物のお話はどちらの国の方と交流する時にも思うのですが、本当に興味深く、その日常さえも理解できる楽しさがあります。また、ご夫妻と私どもは子どもを一男一女持っていることも共通点で、子どもたちの成長や結婚などについてもお話させて頂きました。私にとって、繋がりがまた一つ増えて、有り難い機会を得たことと日が経つにつれ、さらにそう思っております。感謝いたします。



## 大宮の鉄道博物館を案内しました。

吉野勝三郎

1月31日(金)は私の担当でしたが、午後6:00から川越クラブの歓迎夕食会がありましたので、時間の調節が効く、鉄博を案内しました。

前日の新井さんからの引継ぎで、ホテル10時ということでしたが、東武ホテルが移転していたことを知らなかったことから、遅刻してしまいました。ごめんなさい。

まずは、ロビーで、今日の日程の再確認と、私が承知している近世の日印関係で重要な4人のインド人について紹介させていただきました。それは、

•Rash Behari Bose (ボーゼ氏)

インド独立のため、新宿中村屋の娘と結婚し日本で資金を集めて、ラジブ・ガンディーの活動を支援した。

•A. M. Nair(ナイル氏)

ボーゼの右腕として確約した。日本人と結婚し、戦後、銀座にインド料理店を開業し、現在も“ナイル”の名前で営業しているが、3月まで臨時休業中。

•Radhabinod Pal(パル判事)

太平洋戦争の戦犯を裁く東京裁判で、インド代表として参加。東条英機他日本人の被告全員の無罪を主張。九段の靖国神社に彼の顔と説明文を刻んだ石碑がある。

•Indira Gandhi (インド初代首相ネールの娘8代目の首相。ネール首相は、第二次大戦中、日本ではすべての象を殺害したため、彼の娘“インディア”と名付けた象を1949年、上野動物園に寄贈した。私は、1956年にインディアを見ている。)

鉄博では、盛んに記念写真を撮っていました。昼食は、食券でカレーを注文し、ジャヤンティさんのために、白いご飯だけを別盛りしてもらいました。

本日、山崎さんと二人で、ベンカテッシュご夫妻に、川越市内を案内させていただきました。

本日、山崎さんと二人で、ベンカテッシュご夫妻に、川越市内を案内させていただきました。

## 2月1日の案内

生川美樹

10時にホテルで合流後、Uプレイス2階のseriaで、ちょこっとお買い物をしてから、川越YMCAに向かいました。川越YMCAでは、手作りの袋やビーズのアクセサリなどを、求められていました。

山崎さんと私も、購入させていただきました。

それから、東武ストアの2階で和雑貨、ドンキで香水などなど、お買物をされていました。

そして、バスで蓮馨寺に向かい、お参りをして、境内のお団子屋さんで、お団子、かんぴょう巻き、お稲荷さんを食べ

ながら一休み。

お二人は、お稲荷さんが気に入られた様子でした。蓮馨寺から、蔵造りの街並み、菓子屋横丁、氷川神社、川越城本丸御殿とバスと徒歩で、巡りました。氷川神社では、流行りの？鯛みくじに挑戦されました。おみくじは、吉でした。

氷川神社から、小江戸巡りバスでホテルに戻り、一旦、御夫妻にはお部屋で休憩を取っていただき、山崎さんと私もカフェで、休憩をとり、その後、利根川夫妻も加わり、みんなでインド料理の夕食を食べにいきました。今夜のインド料理は、とても美味しくいただきました。お二人も色々召し上がっていらして良かったです。次回、熊本での再会を約束して、お別れました。

2月2日

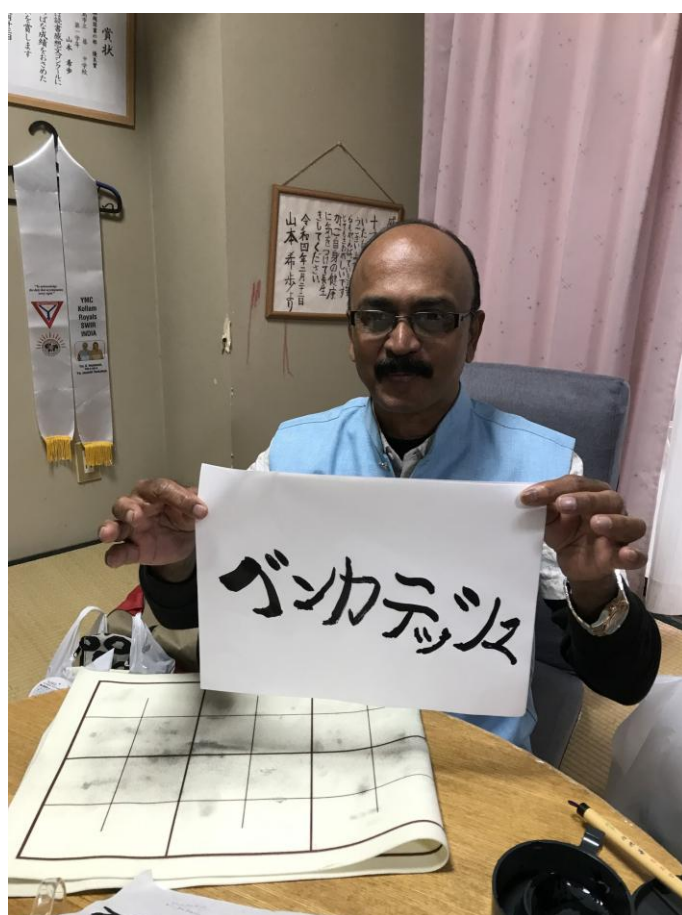
山本剛史郎

朝9時半に川越・東武ホテルに迎えに行きましたが、ご夫妻は予定通りに9時半にホテルをチェックアウトしました。そして電車に乗り、私の住んでいる鶴ヶ島駅まで行き、最初に私の娘の通っている中学校へ案内し、剣道部の練習を見学しました。剣道部の顧問をはじめ、部員にはあらかじめ、インドからのお客さんを連れていくことを伝えていたので、みんなで出迎えてくれました。中学生の部員は照れながらも剣道について、また剣道部の練習について英語で説明してくれました。中学生ということで語学力はないものの、それなりに竹刀や防具の説明、どのようにするのか実際に見せながら楽しくやっていました。説明して、またベンカテッシュさんにも竹刀を持たせて、実際に振ってもらいました。奥さんのハリハラン・ジャヤンティさんは正座で座り、礼をするところに興味があったようで、ヨガみたいだと言っていました。1時間弱の剣道部の練習見学でしたが、お互いに良い交流になったと思います。



その後、近所の100円ショップ、またスーパーマーケットで買い物をした後、私の家でベンカテッシュ氏ご夫妻、私の娘たちと一緒に昼食を食べました。やはりベジタリアンの食事というのが難しいので、一緒に近所のスーパーマーケットに行き、食事を選んでもらうという方法を取りました。食事の後は、私の娘たちと一緒に書道をしました。ベンカテッシュ氏ご夫妻の名前をそれぞれ、カタカナで書いて、

それをご夫妻に書いてもらいました。娘たちは照れながらも一生懸命に英語で説明して、交流をしていました。



その後、所沢パークホテルに向けて出発し、1時間後、ホテルに到着。そして、埼玉YMCA所沢センターに行きました。18時から所沢ワイズメンズクラブの例会を行いました。ベンカテッシュ氏の奥さんジャヤンティさんはお疲れのため、ホテルに残りました。所沢クラブの例会の中で新たな会員の入会式を行いました。また、ベンカテッシュ氏によるインドのワイズメンズクラブについての説明をしてもらいました。所沢クラブのメンバーはそれぞれ自己紹介を行い、またベンカテッシュ氏への質問を行いました。20時を過ぎたところで例会を終了しました。



## この頃のこと

山崎純子

### 川越いもファンド

毎年の川越いも販売が終わりました。故工藤徹ワイズから引き継ぎ今年で17年目になります。引き継ぎ当初はワイズメンバーも若く、お知り合いを通して沢山のご注文がありました。合計200箱以上の売上がありました。

現在世情も変わり贈り物やお歳暮の習慣も減り、最盛期からは1/4の売上です。しかし細々ながら続けることにより、YMCAのサポートにつながり川越の伝統を認識新たにすることができます。

今年から昨今のサツマイモブームに乗り「紅あか」一本から「紅はるか、シルクスweet」を扱うことにしました。サイズは3kgと5kgの二種類にし、小家族でもお求め易くしました。合計58箱、内訳は5kg・42箱 3kg・16箱、紅あか・28箱、その他・30箱。昨年よりやや多いご注文です。

紅あかの味はさることながら保存の難しさから解放された方々も多くおられ楽しんでいただきました。次年度もこの形を続けようと思います。ご協力いただいた方々に心より感謝申し上げます。



### 見守りサポート

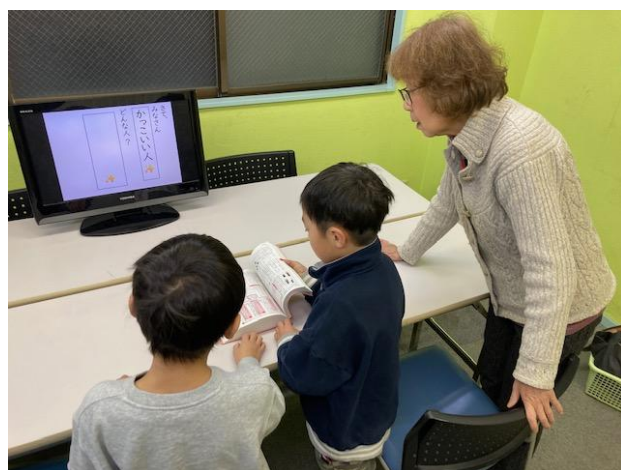
昨年11月頃よりYMCA川越センターの河合さんからの依頼で月1度水曜日の夕方子供たちの見守りをするようになりました。子供たちは低学年3人です。久しぶりの子供たちとの関わりに少し戸惑いや不安はありました。

内容は主に宿題の計算ドリルや漢字書き取り、終わるとゲームなどをして遊びを見守ります。計算は間違えなくでき

るか、漢字はきちんと書けたか。漢字は枠からはみ出るほどの大きな字に思わず「フフフ」と笑ってしまいました。以前の私だったら注意するでしょう。今は彼らのやるように任せ、間違えだけ改めさせています。

遊びはゲームが主です。カードで遊んだり好きなゲームを選ばせて遊びます。最近おもしろかったのは「白熊落とし」。これはアメリカからきたゲームらしいのですが背景は北極海。氷と海をブロックで並べジャンケンで氷を軽い木槌で割ります。白熊が落ちたら負け。2対1で私の負け。カードも3回に1回くらいしか私が勝たないので彼らは嬉しく大満足。私を待ってくれるようになりました。「今日アッチャンリーダー来る？」と尋ねるそうです。私もまんざらではない気分です。

子供の居場所づくりのお手伝いできて何かよいことをした心地。段々期待されない年齢になって来ますが思わぬ幸せをもたらしてくれるこの頃です。



### 新しい趣味

昨年の5月頃友人が銀座で見た作品展を私に紹介してくれました。レースが大好きな私にぴったりと彼女は人づてにお稽古場を見つけてくれました。せっかく彼女が勧めてくれたから行かないわけにはいかない。出かけてみました。それは「白糸刺繍」でした。刺繍といえば美しく豪華な色糸のあやなす世界、しかしこれは白い布に白糸で刺すもの。その美しいこと！手仕事の下手な私ですがお試しコースに出かけてみました。

先生は美しい熟年50代、なんと駅からピックアップ付き。終わるとお茶付き、こんな恵まれたお稽古があるでしょうか。お試しで作ったのがⅠの写真です。すっかり虜になりました。1cmに10目の織り布に刺すから眼の衰えが著しい私には至難の技。しかし現代は総てのことに便利な世の中です。手芸会社が提供している眼がねを手に入れ、使ってみるとその拡大に驚きです。どんな年齢の方にも適応できそうです。「眼がだめだから」という言い訳は通用しなくなりました。

次にドロンワーク、これは横糸を抜き縦糸に刺繍糸を絡めるもので写真Ⅱです。かつてこれに私は憧れていました。一針一針に幸せを感じています。現在3月に行われる作品展の製作中。私には少しレベルが高い作品ですが頑張っています。

この白糸刺繍は昔からヨーロッパの各地でいろいろな形であるものだそうです。今私が製作中のものはイタリアのポ

ローニヤ地方のアジュール刺繍です。年齢と共に楽しみが少なくなりがちですが、新たな喜びにまだまだ前へ前へと進もうと思うこの頃です。



I



II

(編集子)

今年から、毎月クラブ会員に寄稿してもらうことにしました。第一バッテリーは山崎純子メンです。次月は、松川厚子メンにお願いしたいのですが、都合悪ければKYまでお知らせ下さい。調整します。

## 国際の舞台から

### “Keiko’s Monthly Briefing of YMI/ASP”

#### 2025-2026 年度次期国際会長が決まりました。

利根川恵子

「希望の鐘」10月号で2024-2025年度次期会長(2025-2026年度会長)がエオワード・オンさんに決定したことをお伝えしましたが、エドワード会長の次の国際会長(2025-2026年度次期会長)が決まりました。

2025-2026年度に国際会長を務めるのは、ヨハン・ウィルヘルム・エルトヴィックさんです。エルトヴィックさんは、現在ノルウェー区の理事であり、ヨーロッパ地域のアレキサンダー・スカラシップ基金(ASF)事業主任も務めています。

エルトヴィックさんは、2018年まで7年間、世界YMCA同盟の総主事としてご活躍でした。それ以前には、ヨーロッパYMCA同盟総主事を1年間務められました。国際的な奉仕と顕著なリーダーシップが認められ、ノルウェーとポーランドから爵位を授かれています。世界中のYMCAとの絆を生かして、ワイズメンズクラブ国際協会の発展にご尽力いただくことを期待いたします。



#### 第31回アジア太平洋地域大会の登録が始まりました。

来る8月1日から3日にかけて熊本で開催されるアジア太平洋地域大会の登録が始まりました。下記のサイトから登録ができますので、お早めに登録をお願いいたします。

<https://www.asp-kumamoto.com/>

#### 訃報

・元国際会長 ジョン・L・チョアさん 2025年1月31日ご逝去 享年81

・国際会計 エリック・ブルームさん 2025年2月1日ご逝去 享年78

・パンガシナン YMCA 総主事・パンガシナン・ワイズメンズクラブ書記 ジミー・バックナーニさん 2025年2月8日 享年56

\*ジミーさんについては、( )ページの記事をご参照ください。

## YMCA 報告

河合今日子

### <小谷総主事退任について>

10月中旬より小谷さんが休職されておりましたが、1月末で埼玉YMCAの代表を退任することとなりました。1月30日の理事会において、以下の事が承認されましたのでご報告いたします。

2月1日付

吉野勝三郎さん 代表理事 就任

太田聡さん 代表理事・総主事 就任

2月3日には臨時職員会が開かれ、吉野さんと太田さんからのメッセージがありました。

吉野さんはこれまで評議員会会長として長きにわたり埼玉YMCAを支えてくださいました。

これまで国内外で様々な働きをされている中で、今後は埼玉YMCAの代表理事として、より大きな責任を共に背負う決断をしてくださいました。その思いに感謝しながら、私たち職員ひとりひとは、まずは自分自身を大切に、そしてお互いに困った時つらいときには「助けて」と言い合えることができるような環境を作っていきたいと思います。川越ワイズメンズクラブの皆さまとは、すでにそのような関係性ができていますが、今後ともどうぞお力添えをいただけますようお願いいたします。

### <つながりから考える依存症予防セミナー>

昨年10月の3ワイズ合同例会の際に太田聡さんが「デジタルと上手につきあうプロジェクト」の報告をしました。この度、インターネット依存だけでなく、幅広く依存症について考えるセミナーを、子育て子育てセンターで実施することになりました。

午前は中高生、午後は保護者・一般となっております。とても素晴らしい先生方の贅沢なコラボとなっております。添付をご確認の上、ご興味のある方へもご案内いただき、是非多くの方のご参加をお待ちしています。

日程:2月23日(日)

場所:埼玉YMCA 子育て子育てセンター

①10:00-11:30 中高生

②13:00-14:30 一般・保護者

参加費:無料

申込 <https://forms.gle/zhwMyQgPQKKvQSyz6>

### (編集後記)

今号も、我らが川越クラブのパワーを感じさせる「希望の鐘」が出来ました。インドからのBF(Brotherhood Fund)代表(Delegation)に対してクラブメンバー全員が持てる力を発揮して、大変良い対応ができたことを誇りに思います。ワイズのメンバーであることの喜びを感じます。

YMCA 報告にありますように、編集子は、この2月1日付で公益財団法人埼玉YMCAの代表理事に就任しました。前任の小谷全人さんが体調を崩され、昨年来、後任選を評議員会と理事会で検討してきました。その中で、小谷さんが理事長・総主事という重責を一人で担ってこられたことが今回の辞任に繋がったとの反省から、今回、定款を変更して、理事長を二人体制にすることにしました。他のYMCAと比較して、規模は大きくありませんが、フルタイムの正職員だけでも35人いて、パートや非常勤の講師などを含めると100名以上の所帯です。国内各地のYMCA全体を纏める日本YMCA同盟の田口努総主事から、いろいろ貴重なアドバイスをいただきながら新しい体制が発足しました。ワイズの皆さんには、一までも様々な支援をいただいています。今後も引き続きご支援下さいますよう、太田聡総主事共々伏してお願いいたします。

私は、埼玉YMCAの代表理事としては非常勤ですが、できるだけ多くの職員・関係者の皆さんの意見に真摯に耳を傾け、埼玉YMCAの運営に寄与するつもりです。

私は、過日満80歳になりました。幸い健康ですが、従来から複数の業務に携わっていますので、それらをすぐ辞めるわけにはいきません。しかし、このような任務を引き受けた以上、埼玉YMCAの業務により多くの時間と労力を避けるよう、身辺整理に着手しました。

川越ワイズのチャーターメンバーとして、クラブに愛着があります。メンバーの一人一人が大好きです。今後もできる限り会の運営と活動に参加したいと思います。熊本の大会にも参加するつもりです。

(KY)